



東地中海地域ニュース

シリア・イラク：両国共同声明等

(8月22-23日付シリア報道)

1. 8月22日、マールキー・イラク首相とオトリー・シリア首相が発した共同声明(概要)
(注: マールキー首相は、20-22日の3日間シリアを訪問した。同訪問にイラクから内相、石油相、通商相、水資源相らが同行。)
 - (1) シリアは、経済・治安等の分野でイラク国民が選出し同国政府への支援を希望し、イラクの安全と安定の実現に関し、一国の不安定化は他国の不安定化に繋がるとの原則に基づき、イラクの政治プロセスを改めて支持する。
 - (2) 今回のイラク使節団のシリア訪問は、両国の同胞的・歴史的関係を反映して成功裏に終わり、会談ではイラク情勢、地域全体の課題が協議された。イラクは、シリア政府が経済・治安・社会的重荷を背負いつつも数年間に亘り、イラク難民の祖国帰還まで難民受入に多大な努力を行っていることに感謝を表明する。
 - (3) 両国は、イラク政府による国土、国民、資源、国境の安全の維持に向けた政治・治安面での適切な環境醸成の重要性を強調し、イラク市民、インフラ、施設等を目的としたテロ活動及び暴力を厳しく非難する。両国は、宗派・セクト主義を掲げ内戦を誘発する行為に対峙する必要がある。両国は、全ての関係勢力に対し、政治プロセスに参加し、政治的立場を表明する際に平和的手段を用いることを求める。
 - (4) 国境管理は、両国の協議を必要とする共同責任であり、国境管理の為にアラブ諸国の二国間治安協定を活性化し、テロ活動や組織犯罪に対して闘う必要がある。
 - (5) 両国は、貿易・通商関係を強化し、イラク国民の需要に合わせたシリア商品の輸出、両国共同委員会の活性化に向けて、健全な協力枠組を定めた現行の経済協力協定の実施を確認する。両国は、特にシリア・イラク間の石油パイプライン再開の為、石油ガス分野の新協定を準備する為、閣僚主導による両国共同委員会の再開及び同委員会をフォローする技術委員会の組織に同意した。
 - (6) 両国は、国際社会・国際機関等に対し、シリア政府への協力とイラク国民・難民の要請に応えるシリアへの支援を求める。又、当問題の解決はイラク政府の責任でもある。
2. 両国閣僚級会合における同意事項(22日)
 - (1) 石油ガス: イラクのアッカーズ地方とデリゾールにおけるガス精製施設をエジプト・トルコ間ガスパイプラインへ連結、キルクーク・バニヤス間のパイプライン再開に向けた措置、石油製品貿易の活性化
 - (2) 通商: 両国国境管理所の開発協力、同国境に自由貿易区設立、イラク国民のニーズに則したシリア製品の輸出を目的とした輸出入円滑化措置
 - (3) 水資源管理: 水資源管理・ダム建設・灌漑計画に関する協力、シリア・イラク・トルコ水資源委員会の開催、両国の経験の有効活用
 - (4) 政治: 地域・国際情勢に関する協議体制強化、イラク難民の窮状軽減に向けた措置